

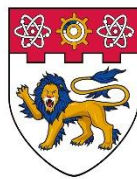
2026 年 7 月 6 日

各位

会 社 名 株 式 会 社 F u s i c
代 表 者 名 代表取締役社長 納 富 貞 嘉
(コード番号：5256 東証グロース・福証 Q-Board)

Fusic、南洋理工大学（NTU Singapore）SaRC と
地上局技術の共同探索に向けた覚書（MoU）を締結
～福岡発・シンガポール連携で、宇宙 × 生成 AI × クラウドによる
アジア太平洋地域における宇宙利用の高度化に挑む～

株式会社 Fusic（本社：福岡県福岡市中央区、代表取締役社長：納富貞嘉）は、南洋理工大学（Nanyang Technological University, Singapore、以下「NTU」）の衛星研究センター（Satellite Research Centre、以下「SaRC」）と、「Future Ground Station」と題した、地上局技術の共同探索に向けた覚書（以下「本 MoU」）を締結いたしましたので、お知らせいたします。



**NANYANG
TECHNOLOGICAL
UNIVERSITY**
SINGAPORE



締結の背景・目的

小型衛星コンステレーションの急速な拡大に伴い、衛星地上局の運用に求められる要件は飛躍的に高度化しています。リアルタイムでの衛星通信データ解析、複数衛星の同時管制、異常検知の自動化など、従来の地上局システムでは対応が困難な課題が増加してお

り、クラウドと生成 AI を組み合わせた地上局技術の探索が世界的に急務となっています。

こうした背景のもと、シンガポールを代表する理工系大学 NTU の衛星研究センターである SaRC と、AWS を中核としたクラウド・生成 AI 実装を強みとする Fusic は、両者の知見を掛け合わせ、地上局技術の可能性を共同で探索するため、本 MoU を締結しました。

本 MoU の概要・今後の協力可能性

本 MoU に基づき、両者はまず以下の領域における共同探索に着手します。

- ・ 地上局技術の共同研究・探索

また、上記の取り組みを起点として、今後、以下の領域における連携の可能性についても両者で協議を進めてまいります。

- ・ クラウド・AI 技術を活用した地上局運用高度化の可能性検討
- ・ シンガポール・日本間における産学連携モデルの構築
- ・ クラウド・AI 分野の人材育成および研究成果の社会実装に向けた協議

コメント

NTU 副学長 クリスチャン・ヴォルフラム教授

衛星コンステレーションが拡大する中、宇宙分野では、ミッションを安全かつ効率的に、そして大規模に管理する新たな方法が求められています。今回の連携を通じて、NTU は、これまで培ってきた衛星ミッションの経験と研究力を、Fusic の AI、クラウドコンピューティング、ソフトウェアエンジニアリングにおける専門性と組み合わせ、熟練した運用者がますます複雑化する宇宙運用を管理する際に、自動化システムがどのように支援できるかを探ります。NTU 衛星研究センター（SaRC）が主導するこのパートナーシップは、研究成果を産業界および社会全体に価値あるソリューションとして還元するという、本学のコミットメントも示すものです。

シンガポール国家宇宙庁（National Space Agency of Singapore、NSAS）スポークスパーソン

今回の NTU と Fusic による連携は、シンガポールと日本の間で広がりを見せる協力関係を反映するものです。このような提携は、両国のエコシステムが持つ相互補完的な知見を結集し、次世代の宇宙関連能力を開発するものです。NSAS は、シンガポールと日本が共有する宇宙分野での志を前進させる連携が、今後さらに広がっていくことを期待しています。

駐シンガポール日本国特命全権大使 石川浩司

本日、日本とシンガポールの外交関係樹立 60 周年という節目の年に、日本のテクノロジー企業である株式会社 Fusic とシンガポールの南洋理工大学衛星研究センター

(Nanyang Technological University Satellite Research Centre) が次世代の衛星地上局実現に向けた協力を進めるため覚書 (MoU) に署名したことを嬉しく思います。

本年 3 月、日本とシンガポールは新たに戦略的パートナーシップを立ち上げました。宇宙分野の重要性が高まる中、両国はこのパートナーシップの下で宇宙分野の協力も拡大していきます。その一翼を担う株式会社 Fusic と南洋理工大学衛星研究センターによる今回の合意が、宇宙分野の発展と宇宙産業の成長に貢献することを期待しています。

株式会社 Fusic 代表取締役社長 納富貞嘉

宇宙産業がグローバルで大きな転換点を迎えている中、シンガポール屈指の宇宙研究機関である SaRC とともに、地上局技術の可能性を共同で探索できることを大変光栄に思います。Fusic は、JAXA や国内宇宙スタートアップとのプロジェクトで培ったクラウド・AI 技術と、シンガポール・ASEAN での事業開発経験を掛け合わせ、アジア太平洋地域の宇宙利用の高度化と生成 AI 実装の前進に貢献してまいります。

NTU Singapore ならびに SaRC について

NTU Singapore は、教育、研究、社会貢献を通じてリーダーを育成し、社会にインパクトをもたらす世界有数の理工系大学です。世界トップクラスの大学として評価される NTU には、ビジネス、コンピューティング・データサイエンス、工学、人文・芸術・社会科学、医学、理学、大学院の各分野において、学部生および大学院生約 4 万人が在籍しています。また、NTU には、国立教育学院 (National Institute of Education) や S.ラジャラトナム国際研究大学院 (S. Rajaratnam School of International Studies) といった世界的に知られる自律型研究教育機関に加え、シンガポール地球観測研究所 (Earth Observatory of Singapore)、ナンヤン環境・水研究所 (Nanyang Environment & Water Research Institute)、エネルギー研究所 (Energy Research Institute at NTU)、シンガポール環境生命科学工学センター (Singapore Centre for Environmental Life Sciences Engineering) などの主要研究センターがあります。NTU は、AI を活用した未来の形成を目指しています。分野を超えて世界の優れた人材を結集し、テクノロジーと人間の創造性を組み合わせることで、AI 時代に対応できる卒業生を育成し、画期的な発見を生み出し、現代社会の課題解決に向けたパートナーシップを推進しています。詳細は、www.ntu.edu.sg をご覧ください。

SaRC は、NTU に設置された衛星研究センターで、教育衛星「VELOX」シリーズをはじめ、複数の小型衛星の設計・製造・運用実績を有するアジア屈指の大学衛星研究機関です。地上局システム、衛星通信プロトコル、軌道制御など、衛星の地上セグメント全般に

わたる深い技術知見を保有しており、シンガポール宇宙産業のエコシステム形成において中心的な役割を担っています。

株式会社 Fusic について

Fusic は、AWS を中核に据えたクラウドインテグレーションおよび生成 AI 実装を強みとするシステム開発会社です（東証グロース上場、本社：福岡県福岡市中央区）。AWS アドバンスドティアサービスパートナーおよび Anthropic の公式リセラーとして、製造、物流、宇宙、大学・研究機関等のパブリックセクターなど幅広い産業領域において、生成 AI とクラウドを組み合わせたソリューションを提供しています。

宇宙領域では、QPS 研究所・Astroscale などのスタートアップおよび JAXA との複数のプロジェクトに携わってきた実績を有しています。

海外展開においては、シンガポールを重点市場と位置づけ、現地の日系企業を中心にクラウド・生成 AI の導入支援を積極的に展開しており、タイ・マレーシアを含む ASEAN 全域への事業展開を加速しています。現地での DX 推進における人材・体制不足という課題に対し、日本語対応のコンサルティングからシステム開発・運用保守までを一気通貫で提供することで、信頼されるパートナーを目指して取り組んでいます。

以上

本リリースに関するお問合せ先

株式会社 Fusic IR 担当

〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 4-1-7 第3明星ビル 6F

お問い合わせ：<https://fusic.co.jp/ir/other/contact>